



## 芸術鑑賞会 感動、笑いあり「伝統芸能」に親しむ

9/30(水)、山田町中央公民館をお借りし、「優れた舞台芸術を鑑賞する機会を設け、生徒の情操を育み、鑑賞する態度を身につける。」ことを目的として芸術鑑賞会が行われました。今年度のテーマは「伝統芸能」ということであり、田辺いちか師匠の講談、林家正楽師匠の紙切り、桂小文治師匠の落語を鑑賞しました。



### 1年A組 女子

どのプログラムも見所があって面白かった。講談は、徳川の家来のびびりが直って、最後は戦に向かっていく所で終わったので、続きが気になった。紙切りは、短時間であんなにきれいな形を作るのはすごいと思った。落語は、狐に化かされて畑で震えているというオチが面白かった。

### 2年A組 男子

最初の説明で、落語について色々を知ることができた。寄席文字というものが、そこには「あきがない(空気がない、飽きがこない)」という意味が込められているなど、落語は面白いと思った。何だか好きになれたような気がする。これから色々な落語を聞いてみようかなと思った。

### 3年A組 男子

普段こういった話芸を目にする機会がなかったので、言葉だけで物語を上手く表現できることにとても感動しました。切り絵を切っている所も初めて見ましたが、プロの技にとっても興奮しました。



## 大盛況 さいかち祭

10月9日(金) 開祭式・校内公開

### 生徒会長挨拶

佐々木 海音 さん(2B)

今年のさいかち祭のテーマは、「DISTANCE～広げよう人との距離、縮めよう心の距離～」です。新型コロナウイルス感染症防止のため、規模縮小という形の開催となりましたが、さいかち祭を開催できたことに感謝しましょう。また、各学年やクラスそれぞれが自分たちで決めたテーマに沿って趣向を凝らした企画、吹奏楽部の演奏、茶華道部によるお茶会など、今まで頑張ってきた成果を保護者の皆様や地域の方々にお見せする機会でもあります。今日から約2日間、このような状況下だからこそ楽しむことを忘れず、学びを得られるさいかち祭にしましょう。

### さいかち祭



10/10 一般公開 9:30~14:00  
場所: 岩手県立山田高等学校  
主催: 岩手県立山田高等学校  
後援: 岩手県教育委員会、山田町教育委員会、山田町、山田高等学校PTA、山田高等学校教職員会、山田高等学校同窓会、山田高等学校PTA、山田高等学校教職員会、山田高等学校同窓会

岩手県立山田高等学校

作: 昆 留偉 さん(1A)

### さいかち委員長挨拶

鳥居 旭 さん(3A)

今日から2日間、さいかち祭が始まります。テーマは「DISTANCE」、一人ひとりが距離をとり、3年生は料理を売り、1・2年生は知恵を振り絞り考えた出店で盛り上げてほしいです。段取り通りにいかないことも、仲間とやりくりし、一人ひとりが光り輝けるような祭りにするよう、全員で頑張りましょう。

### ごあいさつ

校長 宮 学

山田高校文化祭「さいかち祭」にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

本校を舞台に、各生徒は学習・部活動・学校行事に励んでいます。今年はコロナ禍で、生徒会諸行事の開催が危ぶまれましたが、「感染対策をしっかり行っただけでできる限り開催」を念頭に取り組んできました。

今年の「さいかち祭」の開催の可否または方法については、様々な観点から検討を重ねて参りました。その中で、山田高校は、諸先輩方の叡智と努力の結集により今年創立94周年を迎え2世紀目に向けて新たな歴史を刻んでいること、山田町唯一の高校として地元を大切にし、地域貢献を通じて新たな価値を創造し地域創生に資することを心がけていることに鑑み、一般公開を決断しました。規模縮小のうえ、来場制限といった制約を伴ってはおりますが、おかげさまで無事開催にこぎ着けることができました。開催にあたりご協力いただいた、PTAや同窓会そして地域住民の皆様方に、深甚なる感謝とお礼を申し上げます。



ステージ発表: 吹奏楽部

お茶会: 茶華道部



書道部及び1学年書道選択生

生花展: 茶華道部



1学年企画: 縁日

2学年企画: アトラクション



3A模擬店(食券売り)

3B模擬店(調理)

コロナ禍は、学校をリデザインすることを求めています。今までと同様のスタイルでの諸行事開催は、もはや困難な状況となっています。芸術鑑賞会ではソーシャルディスタンスを考慮しての座席指定やマスク着用等、さいかち祭では来場者制限、「健康チェックシート」提出、サーモグラフィーによる検温、ウエイターやウエイトレスのフェイスシールド着用等の感染症防止対策を講じての開催の運びとなりました。あらゆる教育活動とおして、感染症対策を講じることは、「自分自身だけでなく、相手を思いやることにもつながっている」ことを学んでいます。今後も教職員と生徒とが知恵を出し合い、学校をともにリデザインしながら、創立100周年に向けて新しい山田高校を創造していきたいと思っています。